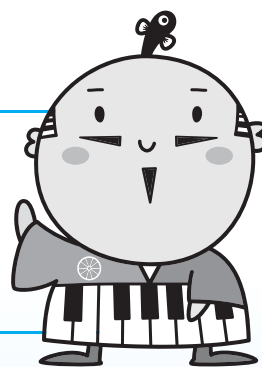


～企業の**力**を地域で**活**かすために～

# 浜松市内企業の 社会貢献(CSR)活動 事例集

浜松市及び浜松市社会福祉協議会では、市内企業と連携を図りながら、福祉と企業がパートナーとして協働して取り組む「企業の地域福祉型社会貢献(CSR)活動」を推進しております。



出世大名  
家康くん

©浜松市

## もくじ

<b>1</b>	はじめに .....	1
<b>2</b>	社会貢献(CSR)活動の意義 .....	2
<b>3-1</b>	活動事例 ユニー株式会社 ピアゴ浜松泉町店 .....	4
<b>3-2</b>	活動事例 株式会社 ユタカ技研 .....	5
<b>3-3</b>	活動事例 株式会社 知久 .....	6
<b>3-4</b>	活動事例 株式会社 幹工務店 .....	7
<b>3-5</b>	活動事例 株式会社 都田建設 .....	8
<b>3-6</b>	活動事例 株式会社 浜名ワークス .....	9
<b>3-7</b>	活動事例 矢崎エナジーシステム株式会社 天竜工場 .....	10
<b>4</b>	地域福祉型社会貢献(CSR)活動の相談から 活動開始までの流れ .....	11
<b>5</b>	活動メニュー .....	12

## 1 はじめに

全国に誇る「ものづくりのまち」として、浜松市内には多くの企業が立地しています。その中には、この地域に、何らかの形で貢献したいという気持ちを持つ企業も多く、地域の人に愛されることで、長く存続できると考える企業もあります。

今世紀に入り、日本でも企業のCSR活動への関心が高まり、従業員、消費者、地域住民など企業の事業展開により直接的・間接的に影響を受ける様々な主体へ配慮し、社会が企業に求める責任を果たすことが、企業の存続を守り、企業価値を高め事業の発展につながるという認識が広がってきました。

そこで、地域へ貢献したいという企業の想いを地域福祉の分野で実現していただくことはできないか、という視点から、浜松市では第3次地域福祉計画のなかで企業の地域福祉型社会貢献（CSR）活動促進事業をリーディングプロジェクトに位置づけ、取り組みを始めました。

「安心・安全で持続可能な地域社会を築くためには、社会を構成する様々な主体がそのプロセスに参加し、補完し合いながら協働することでそれぞれが役割を発揮しやすい環境をつくり出す必要があります（第3次地域福祉計画より）。」地域福祉は、住民と行政、そして福祉活動の様々な担い手の協働によって取り組まれるものです。企業も住民や市民活動団体と同様に地域を構成するメンバーであり、地域福祉の担い手として参加いただくことで、地域福祉の裾野が広がり大きな推進力となります。

市内では、寄付や美化活動など既に社会貢献活動に取り組んでいる企業も多くありますが、地域福祉分野での社会貢献活動はまだ少ない状況にあります。その理由として「何に取り組んでいいのかわからない」、「地域の団体との接点がない」ことなどが挙げられます。

この事例集は、これから社会貢献活動を始めたいという企業の参考となるよう、特に地域福祉の分野で活動を行っている企業を選び、その活動を紹介するものです。また、地域の福祉ニーズと企業の活動を結びつける窓口として、浜松市社会福祉協議会が設置・運営しているボランティアセンターが相談を行っていますので、是非ご活用ください。

企業における社会貢献（CSR）活動の多様な展開が、浜松の地域福祉の創造へ繋がる、福祉と企業の新たなパートナーシップを共に目指しましょう！

### 企業と地域福祉との連携イメージ



## 2 社会貢献(CSR)活動の意義

### CSRとは

CSRとは、Corporate Social Responsibility（コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ）の略で、一般的には「企業の社会的責任」と訳されています。法令遵守や利益貢献、情報開示、地域に対する社会貢献活動、環境への取り組みなど、一般に企業が社会に対して果たすべき責任全般を意味します。

食品の産地偽造や異物混入が大きく報道されるなど、近年、企業の不正や不祥事に対する社会の目は大変厳しくなっており、ともすれば企業の経営危機を招くことすらあります。CSRへの取り組みが注目されている背景には、このような不祥事から来る経営危機を避け、企業の存続を守り、企業価値を高め発展するために、経営戦略としてCSRへの取り組みを選択する企業が出てきており、CSRが就職・投資・消費・企業間取引における新しい企業評価の尺度として使われるようになってきている状況があります。

### 地域志向 CSRへの期待

CSRの概念を国際的に統合したガイダンス（手引き）として国際規格ISO26000があります。ISO26000にはCSRの7つの原則と7つの中核課題が定められています。社会貢献は中核課題の1つである「コミュニティへの参画及びコミュニティの発展」に含まれます。

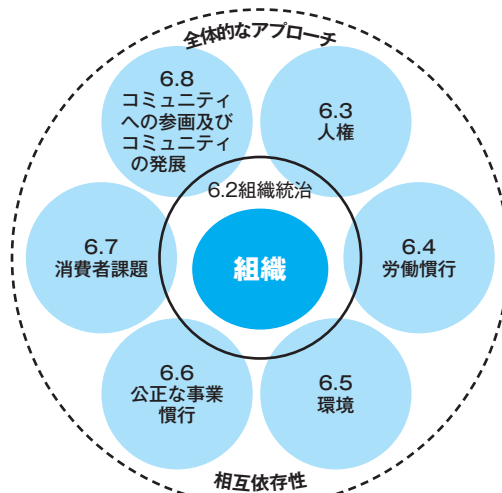
静岡文化芸術大学の下澤嶽教授は、ISO26000における社会貢献のとらえかたについて次のように述べています。「企業が地域社会で貢献できる活動として、『経済活動及び技術開発を通じた雇用創出』『経済開発活動を通じた富及び所得の創出』『教育プログラム及び能力開発プログラムの拡大』『文化の保存』『公用医療サービスの提供』を例にあげている。つまり自社の利益のみを追求して、地域の一員としての義務を果たさないことはCSRのあり方としては許されないのである。」また、その社会貢献のあり方について、「企業がもっている本業部分の能力を活かし、それを改善することで地域コミュニティに貢献することが求められていると言えるだろう。地域志向のCSR、そして社会貢献の意義はISO26000の中ではより深まる方向で進化している」と指摘しています。（『地域志向CSRを考察する：静岡県遠州地域における企業の社会貢献活動調査から』）

社会貢献はCSRにおけるごく一部の概念ではありますが、CSRをきっかけに企業の地域社会に対する関心や関わりが生まれるという意味で地域社会にとって大きな意味を持つものと言えます。

#### CSR7つの原則

- ①説明責任
- ②透明性
- ③倫理的な行動
- ④ステークホルダーの利害の尊重
- ⑤法の支配の尊重
- ⑥国際行動規範の尊重
- ⑦人権の尊重

#### 7つの中核課題



7つの中核主題（ISO26000から引用）

## ■取り組みのメリット

社会貢献活動は企業にとってどんなメリットがあるのでしょうか？

直接利益に結びつくことは期待できませんが、社会貢献活動により社会的な「信頼」を得、従業員の「働きがい」が高まり、その結果として企業が長く「存続」する、企業の生き残り戦略と考える経営者が多いのではないのでしょうか。

実際の声として、企業経営者の方から「地域に貢献することで、お客さま以外の方々から目に見える形で感謝される、その喜びが従業員のモチベーションアップにつながり、組織が活性化した」というお話を伺いました。また、「社会貢献活動が社会的に認められたことで、選ばれる企業となり結果としてよい人材が集まる」という効果も挙げられています。

小さなことからでも、本業や得意なことを活かして地域に貢献する方法を探してみませんか？

①信頼	広くお客様や地域の方々など、常日ごろお世話になっているまわりの方々から「信頼」を得ることは、企業経営にとって非常に大切なことです。地域に顔の見える貢献をすることで、まわりの方々から信頼を得、会社の信用度や知名度をアップすることにつながります。
②働きがい	従業員が安心して、やりがいをもって働くことができる環境をつくることは、経営にとってもプラスになります。また、社会貢献活動が、まわりの方々からも信頼を得られるようになると、従業員からも会社に対する信頼感が生まれ、それがまた働きがいと満足度の向上につながるという、よい相乗効果があらわれてきます。
③存続	地域から信頼を得て、従業員からも信頼を得る。そのことが、ブランド化につながり会社自体の発展と向上につながっていきます。

## ■地域福祉型社会貢献(CSR)活動への支援

浜松市及び浜松市社会福祉協議会では、企業のCSR活動の一環として地域福祉分野での社会貢献活動を広げていきたいと考えています。また、CSRとして組織立った取り組みはしていなくても、地域との関わりのなかで役に立ちたいと思っていただける企業の相談に応じ、地域福祉活動への参加をサポートします。

地域福祉分野での社会貢献活動には、地域住民やNPO法人、市民団体、社会福祉施設など地域社会を構成する主体との協働が必要であり、それが活動を始める際の難しさでもあります。しかし、企業とそのようなさまざまな地域の主体が出会い、コミュニケーションを深める中で、地域の福祉ニーズや地域が企業に求めるモノに気づくことができれば、独自性を持った社会貢献活動の展開につながります。地域福祉分野での社会貢献活動は難しさがある反面、多様な可能性が秘められていると言えます。

地域福祉型社会貢献(CSR)活動を広げるためには、企業と地域の橋渡しをする存在が必要です。浜松市及び浜松市社会福祉協議会では浜松市ボランティアセンターを中心に情報提供や相談、具体的な事業の提案を行い、企業の地域福祉活動への参加を支援します。

## 3-1 活動事例

企業名 ユニー株式会社 ピアゴ浜松泉町店

### 『安心安全を基本に、地域に密着した活動を目指して!』

#### 企業概要

- 創業：平成25年4月
- 事業内容：衣・食・住・余暇にわたる総合小売業のチェーンストア
- 従業員数：17名（正規職員）
- 所在地：浜松市中区泉町1-6-1（本店所在地：愛知県稲沢市天池五反田町1番地）

#### 活動内容

- 地区社会福祉協議会を中心とした地域ボランティアが交流活動拠点として活用できる場（萩丘中地区ふれあいコーナー）を提供し、地域福祉を推進している。
- 毎年、地元小中学生の職場体験学習を受け入れ、児童健全育成を推進している。
- 地域の祭典などのイベントに場所を提供し、地域の力になるように心がけている
- 地域住民が健康的な生活をおくることができるように「食」に関する情報を発信している。

#### インタビュー 店長 市川 稔さんにお話を伺いました。

##### Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：地域の方に愛される店舗となるために地域に根付いた活動をしたいという思いがきっかけです。

##### Q2：活動する際に心がけていることを教えてください。

A2：背伸びしないで出来ること、無理をしないで手が届く範囲で地域に密着した活動を計画しています。地域の方に気軽に参加してもらえるように工夫をしています。

##### Q3：活動による効果はいかがでしょうか？

A3：来客数が増えました。地域の方にとって身近なお店になることができていると思います。地域の方々との交流拠点や情報の発信基地として活用していただきたいと思っています。地域の方々との接点が増加しており、今後も末長いご利用をお願いします。

##### Q4：店舗内に萩丘中ふれあいコーナーが入ったきっかけを教えてください。

A4：萩丘中地区ふれあいコーナーの運営主体である萩丘中地区社会福祉協議会の会長とは以前から顔見知りでした。

会長から「ふれあいコーナーとして使っている施設が耐震の関係で取り壊されることになり拠点がなくなってしまうので困った。」という話をお伺いしました。その頃店舗をリニューアルする計画中でしたので、店舗内に交流拠点を置いたらどうでしょうかという話になり設置されました。

地域の方に安心・安全を供与する場所（心の拠り所）を作ることができ良かったと思っています。

##### Q5：今後の活動について教えてください。

A5：今後も企業の目指している“安心・安全”という基本を忘れず、地域に密着した活動をしていきたいです。

#### 企業からのメッセージ

地域社会の発展を願い、その責任を果たすことを目指し、育児相談や自治体・教育機関の研修のお手伝い、防火・防犯意識の向上、災害時の支援・寄付活動などの社会貢献活動に取り組んでいきます。



萩丘中地区ふれあいコーナー



「食」の安全への取り組み

#### 取材を終えて

ピアゴ浜松泉町店の社会貢献活動は、地域の声を聞きそれに応える形での社会貢献活動が行われており、より地域に密着した活動が行われていると感じました。 [取材担当：浜松市社会福祉協議会浜松地区センター 鈴木美枝]

## 3-2 活動事例

企業名 株式会社ユタカ技研

### 『やれることからの積み重ね！ ～地域とつながる活動を目指して～』

#### 企業概要

- 創 業：昭和 29 年 7 月
- 事業内容：自動車部品の製造及び販売等
- 従業員数：997 名（正規職員）
- 所 在 地：浜松市東区豊町 508-1

#### 活動内容

👤…ヒト 📁…モノ 💰…オカネ

- 福祉施設へ仕事を発注したり、社員による施設への出前講座を行い、障がい者の就労支援活動を行っている。
- 会社の夏祭りなどを地域交流イベントとして行い、福祉施設の利用者を招待している。
- 福祉施設の夏祭りなどへボランティアとして運営協力し、社員のボランティア活動を推奨している。
- 交通安全週間に小学校登下校にあわせてあいさつ運動を行い、児童の健全育成を推進している。
- 駅伝競走部によるマラソン教室を行い、地域住民との交流活動を行っている。
- その他、清掃活動や募金・寄付活動、被災地支援活動に取り組んでいる。

インタビュー 人事・総務部 総務ブロック ブロックリーダー 飯尾 哲也さんにお話を伺いました。

Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：数十年前から続いている会社の夏祭りへ地域の方や福祉施設利用者の参加を呼びかけたり、地域のイベントや福祉施設のイベントに進んで参画したことで地域とつながり、現在の活動となりました。

Q2：活動する際に心がけていることを教えてください。

A2：弊社の基本理念、社是を基にすべての活動において「豊かな（ユタカな）社会人として誇りを持つ」行動をし、地域とつながりを深めていくことを心がけています。

Q3：活動による効果はいかがでしょうか？

A3：従業員による出前講座では、施設利用者が行った作業により製品ができあがっていることを説明しています。自分の作業が社会に貢献していることがわかり、励みとなっているとの声を聞くことができました。また、交通安全週間に合わせて始めた「呼びかけ運動」が地域や PTA、学校と連携した『あいさつ運動』へと発展したこと。やれることの積み重ねが、今では社員の励みとなり、モチベーションが高まるなどの効果があります。

Q4：地域との連携・つながりについて教えてください。

A4：様々な活動により日頃から地域とつながることで、災害時等の緊急な場合でも連携が円滑に行えると思います。また、地域の方に提供できるように災害用備蓄品もストックしています。

Q5：今後の活動について教えてください。

A5：「やれることから取り組む」の考えを基に、今までの取り組みを継続していき、今後は地域の方との環境面（植林、緑化、花）での取り組みや社員の個性や趣味を活かした福祉施設等への訪問活動も行えたらと考えています。

#### 企業からのメッセージ

弊社の基本理念「人間尊重」を基に、やれることから地域と関わり、お互いが手をさしのべることができるよう、活動を継続していきたいと考えます。



マラソン教室



あいさつ運動

#### 取材を終えて

日頃から地域の方、福祉施設、学校などを対象とした取り組みを行っており、活動を通じて地域との関係が深まっています。また、この関係があることで、災害時においても協力しあえるものと感じます。

[取材担当：浜松市社会福祉協議会浜松地区センター東区事務所 赤堀達雄]

## 3-3 活動事例

企業名 株式会社 知久

### 『社会に必要とされる企業を目指して！』

#### 企業概要

- 創業：昭和32年
- 事業内容：惣菜類・米飯類の製造及び販売、レストラン経営、介護施設での食事業
- 従業員数：740名
- 所在地：浜松市西区桜台1-2-1

#### 活動内容

- 「元気なはままつ農業特区」参入後、農業生産と食品加工の作業工程で「遠江学園」と「復泉会（くるみ作業所）」へ通う利用者の就労の場を提供している。
- 地域の中学生を対象に職場体験などを行い、農業を通じて地域に貢献できる活動を実施している。

#### インタビュー 総務課 課長 小澤 勇夫さんにお話を伺いました。

Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：平成17年浜松市の「元気なはままつ農業特区」参入後、農業を通じて福祉施設利用者や地域とのつながりを深めたいと思い活動を始めました。

Q2：活動する際に心がけていることを教えてください。

A2：福祉施設利用者へは、土や苗など自然に触れての作業をしてもらい、自分達が育てた物を収穫する喜びを感じてもらおうようにしています。また、地元中学生を対象とした職場体験では、工場見学だけにとどまらず農園での体験活動も積極的に行っています。

Q3：活動による効果はいかがでしょうか？

A3：繁忙期には遠江学園から週2回約30名、くるみ作業所からは毎日7名ほどが「知久」に通っています。福祉施設からの作業者は年々増加しています。

Q4：地域との関係は？

A4：自社農園で農作物をつくる過程で、障がいのある方の就労支援が出来たり、中学生に農業体験の場を提供することで地域の方との輪も広がっています。また、今後は農園を拡張し、地域の皆さんへ憩いの場として活用していただけるよう事業展開を考えています。

Q5：今後の活動について教えてください。

A5：農業を通じて福祉施設利用者や地域とのつながりを深め、企業のもつ「人材・技術」を活用した地域に根ざした活動をしていきたいと考えています。

#### 企業からのメッセージ

施設、学校、地域の皆様とお互いの良い所を引き出しあいながら、地元に着した活動を長く続けていきたいと考えています。



就労支援



農業体験

#### 取材を終えて

社員だけでなく、地元の福祉施設や学校を巻き込んだ活動は、地域との関係を深めるとともに地域の発展へつながっていくと感じました。

[取材担当：浜松市社会福祉協議会西地区センター 松井孝通]



## 3-4 活動事例

企業名 株式会社 幹工務店

### 『地域の皆さまとともに歩いていくために！』

#### 企業概要

- 創 業：昭和 53 年 7 月
- 事業内容：一般建築請負・施工、一般建築設計・監理、不動産売買・仲介
- 従業員数：14 名
- 所 在 地：浜松市南区若林町 2804-3

#### 活動内容

👤…ヒト 📦…モノ 💰…オカネ

- 平成 16 年から地元中学生の職場体験学習を受け入れ、児童の健全育成を推進している。
- 親子木工教室などの親子で取り組める地域交流イベント（納涼祭）を開催している。
- 会社と協力事業所とで幹和会というグループを作り、会社の建物にクリスマスイルミネーションを飾って地域の方や施設入所者を招待している。

#### インタビュー 営業部 藤井 武俊さんにお話を伺いました。

Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：地元の中学校からの職場体験受け入れ依頼がきっかけとなり、地域への貢献活動として何ができるかを考え、皆に楽しんでもらえるイベントを始めました。

Q2：活動する際に心がけていることを教えてください。

A2：職場体験、イベント企画などが毎年同じ内容にならないように考えています。また、イベント等の収益金の一部を児童福祉施設や災害義援金として寄付しています。

Q3：活動による効果はいかがでしょう？

A3：地域の方が毎年イベント等を楽しみにしてくれています。イベント等を続けることにより、本業のこともたくさんの方に知ってもらうことができました。また、職場体験がきっかけで同じ職種に就職した生徒さんもいます。

Q4：今後の活動について教えてください。

A4：より多くの方にイベントに参加してもらいたい、幹工務店を広く知っていただきたいです。職場体験は地元の子どもたちにいろいろな経験をしてもらうために、今後も続けていきたいと思えます。イベントでは、地域の福祉施設利用者が参加しやすい企画を考えています。

#### 企業からのメッセージ

地域が元気になるように、子どもたちの夢や希望を実現できるように取り組んでいきます。



納涼祭



職場体験

#### 取材を終えて

地域を盛り上げていくために自分たちに何ができるのか、地域や将来のある子どもたちへのあたたかい思いが取材の中で感じられました。

[取材担当：浜松市社会福祉協議会浜松地区センター 石野公三]

## 3-5 活動事例

企業名 株式会社 都田建設

### 『感謝をカタチに！』

#### 企業概要

- 創 業：平成8年4月
- 事業内容：木造注文住宅建設事業・リフォーム事業・エクステリア事業・インテリアショップ事業等
- 従業員数：60名
- 所在地：浜松市北区都田町2698-1

#### 活動内容

👤…ヒト 📦…モノ 💰…オカネ

- 収益の1%を福祉施設、NPO、市民団体等に寄付する活動、「1%for 感謝」を実施している。
- 会社主催で地元の農家や福祉施設の製品を販売したり、工務店という特徴を活かした木工教室など行う「ロールサンクスフェス」という地域交流イベントを実施している。
- 災害時に地域の力になるために、乾パンや発電機などの非常用品を備蓄した「ミヤコダ・ストック」を設置している。

### インタビュー SB課 広報担当 飯田 聡さんにお話を伺いました。

Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：創業当初からこの地域に根をはらせていただいています。地域にお世話になっているということをお忘れず、感謝の気持ちを伝えたいという思いから社会貢献活動を始めました。

Q2：活動する際に心がけていることを教えてください。

A2：すべての活動において「継続する」ということを心がけています。そのためイベントの準備などを社員全体で取り組むことにしています。「感謝の気持ちを忘れない」という思いを社員一丸となって形にしていきます。そこから私たち社員のチーム力も向上しているのではないかと思います。

Q3：活動による効果はいかがでしょう？

A3：地域の方とのコミュニケーションが深まりました。地域とのつながりを社員自身が感じることで、社員の意識も個々の社員が地域のために何ができるのかを常に考えるよう変わってきました。あいさつをするのは当たり前のことですが、イベント後には近隣の清掃活動など、新しい活動を考えるようになりました。

Q4：会社全体で一体的に社会貢献活動に取り組むことができるのはなぜですか。

A4：基本的には現場仕事の多い会社ですが、毎日の朝礼、毎週木曜日のバーベキューや全体ミーティングなど社員全員が集まる機会を設けています。全ての社員が対等に意見交換することで、社員自らが気づき、意識の統一が図られていくのだと思います。

Q5：今後の活動について教えてください。

A5：私たちは、自然豊かで人が良い「都田」という地域が大好きです。この地域の良さをもっと多くの人に知ってもらえるような機会を作りたいと思っています。また、「ミヤコダ・ストック」のような地域が必要としている取り組みを考えていきたいです。

#### 企業からのメッセージ

私たちは、地元を活性化させることができるような活動に力を入れ、地域の方に「都田建設」があってよかったと思っていただけるような会社であり続けたいと考えております。そして、地域の方はもちろんいろいろな方が集える場所を作りたいと思っていますので、ぜひ気軽に遊びに来てください。



ミヤコダ・ストック



ロールサンクスフェス

### 取材を終えて

「会社一つで思いも一つになれば会社がよくなる」という飯田さんの言葉と、インタビューを終えて帰る際に、社員の方が大きく手を振りながら見送ってくださった姿が心に残っています。都田という地域のために何ができるのか、社員全員がそれぞれに考え、行動しているということが伝わってきました。[取材担当：浜松市社会福祉協議会北地区センター 富田真理恵]

## 3-6 活動事例

企業名 株式会社 浜名ワークス

### 『社員の提案から地域貢献へ！ ～地元幼稚園への工場敷地内緑地の開放～』

#### 企業概要

- 創業：昭和17年5月
- 事業内容：大型トラックボデー製造架装及び販売
- 従業員数：218名
- 所在地：浜松市浜北区上島1700-1

#### 活動内容

👤…ヒト 📦…モノ 💰…オカネ

- 近隣の幼稚園に工場敷地内の緑地広場を開放し、園児のあそび場として提供している。
- 社員の提案により、東日本大震災で被災された方を支援する災害ボランティア活動の応援ステッカーの販売を実施した。また、西日本豪雨水害支援のため物資（タオル）を寄贈するなど、ボランティア活動の推進をしている。

#### インタビュー 総務部 次長 名倉 剛さんにお話を伺いました。

Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：社員から、工場内の緑地にどんぐりの木が多くあることから、「幼稚園児に場所を開放してはどうか」との提案があったことがきっかけです。災害支援でも社員の提案が活動に結びついています。

Q2：活動の際に心がけていることを教えてください。

A2：緑地広場の開放では、工場内に大型車輛が多く走行しているため、事故等がないように社員が付き添い、見守りをしています。

Q3：活動による効果はいかがでしょう？

A3：休日にどんぐりを拾いに再度訪れる家族もあり、地域住民とつながるきっかけになっています。どんぐり拾いのお礼に幼稚園児が折り紙等の作品を届けてくれたり、火の用心（火災予防啓発活動）のために会社を訪れてくれたりとその後の交流にもつながっています。大型車輛を見て喜ぶ園児や、大きくなったら当社に勤めたいと話してくれる園児もいます。会社としてはどんぐりの実は処分するだけなので、園児たちが喜んで拾ってくれて、助かっています。

Q4：どんぐり拾い、災害支援以外に今までに地域の方と一緒に取り組んだ活動はありますか？

A4：天竜川の河川敷の清掃に社員一同で参加したことがありました。地域の方にも理解をいただかなければ製品は作れないため、地域の方から要請があったら出来る範囲で協力する考えです。

Q5：今後の活動について教えてください。

A5：今後も現在の活動を継続し、さらに発展していければと思っています。

#### 企業からのメッセージ

当社はお客様第一主義をモットーに業務を行っておりますが、同時に近隣地域の方々ともよいコミュニケーションを築くよう心がけております。子供たちが普段見られない大型トラックをみて、感動してくれることが嬉しいことと思います。どんぐりが子供たちの教材に役立てば幸いです。



幼稚園児どんぐり拾い



幼稚園児の工作

#### 取材を終えて

会社の正面入口には、幼稚園児から届けられた作品が飾られており、そこを訪れる方を出迎えてくれます。この土地にあったからこそできる活動であり、必要とする方のために会社の資源を快く提供する姿勢にあたたかさを感じました。

[取材担当：浜松市社会福祉協議会浜北地区センター 高松由佳]

## 3-7 活動事例

企業名 矢崎エナジーシステム株式会社 天竜工場

### 『地域と共に歩む企業を目指して！』

#### 企業概要

- 創 業：昭和 34 年矢崎部品株式会社天竜工場として創業
- 事業内容：ガス関連機器の生産と販売
- 従業員数：527 名
- 所 在 地：浜松市天竜区二俣町南鹿島 23（本社：東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 17F）

#### 活動内容

👤…ヒト 🏠…モノ 💰…オカネ

- 福祉施設の納涼祭などのイベントにボランティアとして参加するほか、天竜厚生会まつりへの駐車場の提供を行っている。
- 地域の方を招いて桜まつりや隔年で納涼祭を開催し、地域住民との交流を深める活動を実施している。
- 有事の際に企業が地域の力となるよう地域の防災訓練（毎年 12 月）に参加している。
- 会社周辺のゴミ拾いや阿多古川の清掃活動に参加し、地域への貢献活動を実施している。
- その他、共同募金への協力、エコキャップリサイクル、障がい者の職場体験受け入れ、職場防犯管理協会加盟による街頭指導等を行っている。

インタビュー 工場長 谷下 勝義さん、ガス機器事業部 小杉 俊徳さん、総務部 岩山 真一さんにお話を伺いました。

Q1：活動のきっかけについて教えてください。

A1：矢崎グループの社是でもある「社会から必要とされる企業」を目指して社会貢献の取り組みを始めました。利益よりも社会のためにと「環境にやさしい事業の実施」「雇用確保」「地域社会との連携」を方針として社会貢献活動を行っています。

Q2：活動する際に心がけていることを教えてください。

A2：地域の方と一緒に活動することでコミュニケーションを図ったり、福祉施設の事業のお手伝いをするなど、当社として貢献できる活動を実施しています。

Q3：活動による効果はいかがでしょうか？

A3：防災訓練に参加し、地域の方との意見交換を行いました。直接地域の方と触れ合うことで、地域の方の意見を肌で感じ、防災意識の高揚につながっていると思います。また、地域交流などの各種イベントに関しても地域の方を招いて行うことで顔の見える関係づくりができています。

Q4：今後の活動について教えてください。

A4：今後も社是のもと、地域のために貢献することを継続していきます。

Q5：行政、市社協などに期待することはありますか？

A5：会社として試行錯誤しながら地域貢献活動に取り組んでいますが、他の企業の取り組み例などを教えてほしいです。また、企業と地域の方との橋渡しの役割を期待しています。

#### 企業からのメッセージ

地域の皆様と共に、明るく・安心・安全な街づくりに貢献できるよう企業として努めていきます。



鹿島防災訓練



納涼祭

#### 取材を終えて

矢崎グループ全体が社会貢献活動に積極的で、環境を意識した企業活動や災害時への備え等さまざまな活動の様子を伺いました。天竜工場には、毎日通勤路のゴミを拾いながら出勤する社員もいるとのことで、地域貢献に対する意識の高さが印象に残りました。

【取材担当：浜松市社会福祉協議会天竜地区センター 宮谷愛梨沙】




## 4 地域福祉型社会貢献(CSR)活動の相談から活動開始までの流れ

### 企業・法人内で検討

- 企業内でのイメージづくり
- 「何をしたいのか」「何ができるのか」を検討



### 活動内容(例)

- 社員・職員に対して社会(地域)貢献に関する研修を開催したい等
- 企業力を活かすヒト・モノ・カネ・ノウハウを提供したい   
- 企業の理解  
社員・職員の個々の活動を応援したい



- 活動内容の具体化
- 活動先、活動場所との調整  
日時 場所 活動内容  
留意事項等を確認



活動開始

相談

コーディネート

活動後

### 支援内容

- テーマ設定や内容についてのアイデアを提供
- 講師の紹介
- 活動メニューの提供
- 活動事例の紹介
- 新たな活動場所の開拓
- 活動先の紹介
- 活動内容の紹介 等

### 相談受付機関

浜松市社会福祉協議会  
浜松市ボランティアセンター  
☎(053)457-7011

### 評価・ふりかえり

活動に対してどのくらい達成できたかをふりかえりましょう。社内外に広報することも必要です。

- 具体的にどのような計画で、どのような活動ができたのか
- 活動に参加した人数は
- 活動写真も含め、活動の記録を残す
- 社員・職員内の意識調査
- 新聞などへの掲載事例
- 活動の支出(物や場所の提供もお金に換算)

## 5 活動メニュー

### ●企業の能力や資源を活かした活動メニュー

項目	活動メニュー
企業の商品やノウハウ・従業員のスキルや労力の提供	<p><b>【地域で活動する団体との協働】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の自治会やボランティア団体等の IT 関係をサポート</li> <li>●機材の提供に加え、機材を操作する従業員も参加</li> <li>●地域のイベントに自社製品等を提供し、くじ引きなどの景品として活用</li> <li>●地域の福祉活動について企画、準備等の運営支援</li> <li>●地域の防災訓練へ参加</li> <li>●季節ごとに実施するボランティア団体のイベントに協力</li> <li>●地区社会福祉協議会の活動へ参加、共催、寄付</li> </ul> <p><b>【福祉施設との協働】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉作業所等の商品開発・販売サポートのために知識を提供</li> <li>●季節ごとに実施する福祉施設のイベントに協力</li> <li>●交流イベントを開催し、福祉施設の利用者を招待</li> <li>●福祉施設でのボランティア活動</li> <li>●福祉施設の草取りや清掃などの環境整備</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の方が参加できるイベントを主催者として実施</li> <li>●企業のスキルを活かした研修等の実施</li> </ul>
企業の資源の活用	<p><b>【一般的な支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●会議室や敷地を地域の団体やボランティア団体等に提供</li> <li>●店舗の空スペースを福祉施設の自主製品販売コーナーに無償提供</li> <li>●イベント等に駐車場の無償貸出し</li> <li>●企業が有する備品を提供</li> </ul> <p><b>【防災・災害支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時に地域住民の避難所として会議室等を開放</li> <li>●地域の防災訓練に敷地を提供</li> <li>●企業が有する備品を提供し、災害ボランティアセンターを支援</li> <li>●被災者の生活支援のため、物資及び食糧等の備蓄</li> <li>●企業の空きスペースを災害ボランティアの備品置き場として提供</li> <li>●被災地への災害ボランティア活動</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協賛、後援等の名義使用の許可</li> <li>●福祉施設の製品を積極的に活用</li> <li>●福祉団体、福祉施設等に寄付金及び寄付物品の贈呈</li> <li>●中間的就労<sup>※1</sup>の支援や職場体験の受け入れ</li> <li>●ボランティア休暇制度の促進</li> <li>●従業員へのボランティア活動の情報提供、活動支援</li> <li>●あいさつ運動・見守り活動</li> <li>●ボランティア活動推進部署の設置</li> </ul>

※1 一般就労をただちに目指すのが困難な人が、本格的な就労に向けた準備段階として公的支援も受けながら、日常生活での自立や社会参加のために働くことができる就労機会のことです。

## 相談受付機関（浜松市社会福祉協議会）

企業の社会貢献活動として何か地域の役に立てることはないだろうか、など地域福祉分野での社会貢献活動についてご相談がありましたら、以下までお問い合わせください。

### 社会福祉法人浜松市社会福祉協議会

浜松市ボランティアセンター

浜松市中区成子町140-8

TEL (053) 457-7011 / FAX (053) 452-9218

#### 中区・南区・東区

浜松地区センター

浜松市中区成子町140-8

TEL (053) 453-0553

東区事務所

浜松市東区流通元町20-3

TEL (053) 422-3737

#### 西区

西地区センター

浜松市西区舞阪町舞阪2701-9

TEL (053) 596-1730

#### 北区

北地区センター

浜松市北区細江町気賀4581

TEL (053) 527-2941

引佐事務所

浜松市北区引佐町井伊谷616-5

TEL (053) 542-3486

三ヶ日事務所

浜松市北区三ヶ日町宇志803

TEL (053) 524-1514

#### 浜北区

浜北地区センター

浜松市浜北区小林1272-1

TEL (053) 586-4499

#### 天竜区

天竜地区センター

浜松市天竜区二俣町二俣530-18

TEL (053) 926-0322

春野事務所

浜松市天竜区春野町宮川1330

TEL (053) 989-1261

佐久間事務所

浜松市天竜区佐久間町中部18-11

TEL (053) 965-0294

水窪事務所

浜松市天竜区水窪町奥領家2980-1

TEL (053) 982-0046

龍山事務所

浜松市天竜区龍山町戸倉711-2

TEL (053) 969-0082

---

## ～企業の力を地域で活かすために～ 企業の社会貢献(CSR)活動事例集

- 発行 浜松市  
健康福祉部福祉総務課  
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2  
TEL (053) 457-2326 FAX (053) 458-7753  
<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>
- 編集 社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会  
〒432-8035 浜松市中区成子町140-8  
TEL (053) 453-0580 FAX (053) 452-9218  
<http://www.hamamatsu-syakyou.jp/>

発行日 平成 27 年 3 月

---